

7 令和6年度各支部の活動状況（県南ブロック）

土 浦 市

1 土浦市教育研究会特別支援教育部

- 令和6年度研究主題
「社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる児童・生徒の育成」
- 研究テーマ
「子どもの自立や社会参加を目指した、一人一人の教育的ニーズに応じた支援のあり方」

2 事業内容

- (1) 土浦市教育研究会特別支援教育研究部第1回主任会 5月15日（水）
土浦市教育研究会特別支援教育研究部第2回主任会 R7年 2月 7日（金）
- (2) 各中学校区交流学习・合同校外学習
 - ・土浦一・四中地区 11月19日（火） ・土浦二中地区 12月13日（金）
 - ・土浦三中地区 12月 6日（金） ・土浦五中地区 11月 6日（水）
 - ・土浦六中地区 12月 5日（木） ・都和中地区 11月25日（月）
 - ・新治学園地区 10月 1日（火）
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバルへの作品出展（下高津小が参加）
12月 5日（木）～12月 9日（月） ザ・ヒロサワ・シティ会館
- (4) 手をつなぐ子らの作品展 1月21日（火）～26（日）〔土浦市民ギャラリー〕
土浦市内全小中学校、新治学園義務教育学校、土浦特別支援学校が参加
- (5) 県南地区特別支援教育研究部研修会等への参加

3 今年度の成果

- 本市では今年度から中学校区を単位として県事業である「特別支援教育推進グループ」を設置し、それぞれのグループから特別支援教育推進リーダーを指名して、特別支援教育コーディネーター会議の開催、他校の新任特別支援教育コーディネーターのサポート、巡回相談員との連携による他校への支援等の取組を実施することで、学校間の連携や協働体制の構築に努めているところである。
- 中学校区ごとに交流学习や合同校外学習を行った。実施内容や場所は様々だが、各中学校区で工夫した取組を行い、参加した児童生徒が活躍できる場を設定することができた。他校児童生徒との交流も楽しむことができた。
- 手をつなぐ子らの作品展は、各校が作品のアイデアを練り、素晴らしい作品が数多く展示され、好評だった。

石 岡 市

1 石岡市教育研究会特別支援教育研究部

- 研究目標
 - ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
 - ・社会性や豊かな人間性を育むための合同学習や交流、協働学習の推進

2 事業内容

- (1) 第1回特別支援教育研究部研修会 4月25日（木）〔場所：八郷庁舎〕組織づくり
第2回特別支援教育研究部研修会 8月8日（木）〔場所：八郷庁舎〕各係打合わせ

- 第3回特別支援教育研究部研修会 9月3日(火) [場所:八郷庁舎] 相談票書き方
 第3回特別支援教育研究部研修会 2月上旬 [書面] 事業反省及び次年度に向けて
- (2) 各中学校区交流学習
- ・国府中学校区合同学習会 7月2日(火) 風土記の丘へ校外学習
 - ・八郷中学校区合同学習会 9月12日(木) アクアワールドへ校外学習
 - ・園部中学校区合同学習会 11月21日(木) 園部中学校で交流学習
 - ・石岡中学校区合同学習会 11月22日(木) 石岡中学校で交流学習
 - ・府中中学校区合同学習会 11月22日(木) かみね動物園へ校外学習
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2024 12月5日(木)～9日(月)
 [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館] 市内小中学校13校参加
- (4) 石岡市手をつなぐ子らの作品展 1月24日(金)～28日(火)
 [場所:石岡市役所多目的ホール] 市内小中学校18校参加
- (5) 特別支援教育研究部ワークショップ型研修会
 3月4日(火) [場所:八郷庁舎] 発音指導のヒント
- (6) 石岡市手をつなぐ親の会広報誌「ひびき61号」発行 3月中旬
- (7) 県南地区Dブロック研修会 11月22日(木) [場所:石岡市中央公民館]

3 今年度の成果

- 中学校区ごとの合同学習会も2年目となり、実態に応じた交流活動を行うことができた。中学生がリーダーシップを発揮してグループで協力して活動するなど、子どもたちにとって良い経験となった。
- 市内の多くの学校において特別支援学級が増加し、担当者の入れ替えも多くあった。活動内容の共通理解や特別支援教育への理解を深めるため計画的に研修会を実施し、組織づくり、各係打合わせ、グループ研修等を行ったことで、連携しながら見通しをもった活動を行うことができた。
- 「石岡市手をつなぐ子らの作品展」の開催場所を市役所にして3年目となり、多くの方々に見ていただけただけでなく、作品展の運営もスムーズであった。継続させていきたい。

龍ヶ崎市

- 1 龍ヶ崎市教育研究会特別支援教育研究部 令和6年度研究テーマ
- 一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加ができる児童生徒の育成をめざして
- 2 事業内容
- (1) 市教育研究会特別支援教育研究部会
 日付 4月25日(木)
 会場 龍ヶ崎市立長山小学校
- (2) 市教育研究会特別支援教育研究部夏季研修会
 日付 8月1日(木)
 会場 龍ヶ崎市立長山小学校
 講師 つくば市立並木小学校教頭(前市教育センター指導主事) 稲垣 章一 様
- (3) 県南地区特別支援教育研究協議会

- 日付 8月20日(水)
 会場 オンライン開催
 講師 一般社団法人スクールセイフティネット・リサーチセンター代表理事(元東京成徳大学教授) 田村 節子様
 講話 「発達障害のある子どもへの支援 ～WANTSとNEEDSに焦点を当てて～」
- (4) 中学校区ごとによる小中交歓会
 日付 9～12月
 会場 市内小中学校
- (5) 県南地区Bブロック特別支援教育担当者研修会
 日付 12月12日(木)
 会場 牛久市生涯学習センター
 講師 県立美浦特別支援学校教諭 加来 慎也 様
- (6) えがお展準備会
 日付 12月19日(木)
 会場 市教育センター
- (7) えがお展
 日付 令和7年1月24日(金)から1月26日(日)
 会場準備・作品搬入:1月23日(木)
 作品搬出・片付け等:1月28日(火)
 会場 大昭ホール龍ヶ崎 小ホール

3 今年度の成果と課題

- 市研究部と県南地区研究部が連携し多面的に研修会を開催できたことで、担当する教員の悩みを解消し専門性や実践意欲を高めることができた。
- 本市の特別支援学級は増加傾向で、それに伴い特別支援教育に担任として関わる教員も増加している。誰が担当することになっても自信をもって指導ができるように、意図的・計画的な研修会の開催が必要である。
- えがお展には多くの参観者が来場し、好評であった。特別支援学級在籍の児童生徒にとって自己表現する貴重な機会であるが、児童生徒数の増加もあり運営については工夫が必要である。持続可能な開催方法について協議・検討していきたい。

取手市・北相馬郡

1 研究主題

- 「児童生徒一人一人の理解と支援のあり方」

2 事業内容

- (1) 市郡特別支援教育研究部研修会 4月18日(木) [場所:永山中]
 ・組織づくり、年間の見通し 等
- (2) 新入生歓迎会 4・5月 [場所:各小中学校]
- (3) 伊奈特別支援学校地域連携体制構築事業 第1回いなサークル(地域連携協議会)
 6月12日(水) [場所:伊奈特別支援学校]
- (4) 伊奈特別支援学校地域連携体制構築事業 いなサークル研修会
 7月25日(木) [場所:伊奈特別支援学校]

- 取手市、守谷市、つくばみらい市各小中学校管理職対象研修
- (5) 県南Aブロック特別支援学級及び通級指導教室担当者研修会
8月8日(木) [場所:つくばみらい市きらくやまふれあいの丘]
講演「これからの特別支援教育に必要なこと～特別支援教育担当者の役割～」
講師:守谷市教育委員会教育指導課課長 村松 静 先生
 - (6) 県南地区特別支援教育研究協議会 8月20日(火) [オンライン]
 - (7) 伊奈特別支援学校地域連携体制構築事業 第2回いなサークル(地域連携協議会)
9月11日(水) [場所:伊奈特別支援学校]
 - (8) 市郡特別支援教育研究部研修会 授業研究 11月15日(金) [場所:藤代中]
 - (9) 市郡特別支援教育研究部研修会 事後協議 11月29日(金) [オンライン]
 - (10) とりでつばさ展(取手市美術展に「特別支援教育の部」として参加)
11月29日(金)～12月8日(日) [場所:とりでアートギャラリー]
 - (11) 利根町作品展(利根町美術展に「特別支援教育の部」として参加)
11月30日(土)～12月1日(日) [場所:利根町文化センター]
 - (12) ナイスハートふれあいフェスティバル2024美術展 12月5日(木)～9日(月)
[場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館] 取手市から2校参加
 - (13) 伊奈特別支援学校地域連携体制構築事業 第3回いなサークル(地域連携協議会)
1月15日(水) [場所:伊奈特別支援学校]
 - (14) 市郡特別支援教育研究部運営会議 2月 [場所:永山中]
今年度の活動の反省、次年度の活動について
 - (15) 卒業を祝う会 3月 [場所:各小中学校]

3 今年度の成果

- 今年度から、取手市、北相馬郡利根町の教育研究会が一つになり、「市・郡教育研究会」となった。作品展など事業は別に実施しているが、利根町は小中1校ずつなので、授業研究など研修の面で効果があった。
- 授業研究は、輪番制により計画訪問における授業を公開してもらうようにしている。数年先まで計画が出されているので、見通しを持って取り組んでいる。
- 授業研究事後協議はオンラインで実施したが、事前に参観者には参観シート記入を義務づけていたので、各担当者のスキルを活かして研修を深めることができた。

牛久市

1 研究主題

- 児童生徒一人一人のニーズに応じ、社会性を育成するための自立活動の工夫

2 事業内容

- (1) 牛久市教育研究会特別支援教育研究部会 5月28日 (牛久小学校)
- (2) 県特別支援教育研究部難聴、言語障害教育研究部会担当者研修会
6月26日(オンライン)
- (3) 第1回みほとくインクル研修会 7月29日 (美浦特別支援学校)
- (4) 第1回市特別支援コーディネーター会議 8月2日 (奥野生涯学習センター)
- (5) 市教育研究会特別支援教育研究部研修会 8月2日 (奥野生涯学習センター)
- (6) 県特別支援教育研究部難聴、言語障害教育研究部研究会

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------|
| | 8月20日 | (常総交流センター) |
| (7) 県南特別支援研究協議会 | 8月20日 | (オンライン) |
| (8) 第2回市特別支援コーディネーター会議 | 9月12日 | (ひたち野リフレ) |
| (9) 特別支援教育に係る学校訪問 | 9月18日 | (牛久小学校) |
| (10) 第2回みほとくインクル研修会 | 10月11日 | (オンライン) |
| (11) 第3回市特別支援コーディネーター会議 | 11月7日 | (ひたち野リフレ) |
| (12) ナイストふれあいフェスティバル2024 | | |
| | 12月5日(木)～9日(月)(場所：ザ・ヒヨウ・シティ会館)3校参加 | |
| (13) 県特別支援教育研究部難聴、言語障害教育研究部担当者研究会 | | |
| | 12月9日 | (守谷市中央公民館) |
| (14) 県南Bブロック自・情学級担当者研修会 | 12月12日 | (牛久生涯学習センター) |
| (15) 小中学校交流会 | 10月～1月 | (各中学校区) |
| (16) 第4回市特別支援コーディネーター会議 | 1月31日 | (ひたち野リフレ) |
| (17) 第31回かがやき展(手をつなぐ子らの作品展) | | |
| | 令和7年1月31日(金)～2月2日(日) | |
| | (場所：牛久市中央生涯学習センター展示ホール) | |
| (18) 「年間活動のまとめ」作成、次年度への引継ぎ | 2月 | (各担当校) |

3 今年度の成果

- 市教育研究部特別支援研究部研修会は、市内の特別支援学級担任が参加し、美浦特別支援学校の先生をはじめとする講師の方の全体研修があり、特別支援教育についての理解が深まる充実した研修だった。
- 市特別支援コーディネーター会議では、各校のコーディネーター、市教育委員会、美浦特別支援学校地域コーディネーター参加のもとで実践演習とグループ協議をすることで、大変充実した研修であった。また、地域の先生方との情報交換や日々の悩みを共有することで今後の学校教育に生かすヒントとなる研修であった。
- 市内小・中・義務教育学校(計13校)でローテーション表を基に担当を決め、運営・実行しているため、役割がはっきりして、何事もスムーズに実践することができた。

つくば市

1 研究主題

研究テーマ「一人一人のニーズに応じた支援の在り方を工夫した教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) つくば市教育研究会総会 5月8日(水) [場所：オンライン]
- (2) 特別支援教育研究部代表部員会 7月9日(火) [場所：茎崎第二小学校]
- (3) つくば市教育研究会夏季研修会 8月1日(木) [場所：オンライン] 162名参加

○実践発表 「児童の学習意欲を高めるための指導・支援の工夫

～小学校第3学年算数科の指導を通して～

つくば市立茎崎第二小学校 知的学級 大和田 巧 先生

○グループ協議 「学習意欲を高めるための取組」「算数・数学科における成果と課題」

- (4) 県南地区特別支援教育研究協議会 8月20日(火) [場所：オンライン]

- 講話 「発達障害のある子どもへの支援 ～WANTSとNEEDSに焦点を当てて～」
講師 一般社団法人スクールセイフティネット・リサーチセンター代表理事
元東京成徳大学教授 田村 節子 先生

○グループ協議

- (5) 特別支援教育に係る学校訪問 9月25日(水) [場所:春日学園義務教育学校]
(6) 手をつなぐ子らの作品展 10月～2月 [場所:各学園・学校] 1223名出品
(7) 特別支援教育に係る学校訪問 12月3日(火) [場所:荃崎第二小学校]
(8) ナイスハートふれあいフェスティバル2024
(吾妻小・吾妻中・荃崎中・荃崎第二小学校参加)
12月5日(木)～9日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]
(9) 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会 12月9日(木) [場所:守谷市中央公民館]

○講演 「構音障害の指導」

講師 筑波大学人間学群障害科学類 教授 宮本 昌子 先生

○分科会

- (10) 県南地区Cブロック特別支援学級担当者研修会 1月21日(火)
[場所:オンライン・学園代表校参集] 213名参加

○講演 「特別な支援を必要とする児童生徒の具体的な支援について」

講師 つくば市教育局特別支援教育推進室 室長 中島 澄枝 先生

○各学園研究協議 「本校における特別支援教育の課題と改善策」

- (11) 各学園特別支援教育コーディネーター会議(2回) 10月～2月 [場所:各学園代表校]

3 今年度の成果

- つくば市教育研究会夏季研修会に向けてGoogle Classroomを作成し、資料等データを共有できるようにした。参加者がオンラインでの研究協議に慣れ、活発な意見交換ができた。
○ 県南地区Cブロック研修会では、学園ごとに参集した。小中連携を密にするための方策や、個に応じた自立活動の設定、通常の学級担任や校内フリースクール(Sルーム)との連携等、課題を共有し、具体的な改善策を検討することができた。

守 谷 市

1 研究テーマ

「個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実を図るための指導・支援の在り方」

2 事業内容

- (1) 第1回守谷市特別支援教育研究部会
5月7日(火) オンライン開催 組織づくり、年間活動計画作成
(2) 第1回守谷市特別支援教育研究部研修会
5月15日(火) オンライン開催 各部活動計画の確認
(3) 県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会
8月8日(木) [場所:きらくやまふれあいの丘 世代ふれあいの館]
講演「これからの特別支援教育の必要なこと ～特別支援教育担当者の役割～」
講師 守谷市教育指導課長 村松 静 先生
(4) 県南ブロック夏季一斉研修会

- 8月20日(火) オンライン開催
 講演「発達障害のある子どもへの支援 ～WANTS と NEEDS に焦点を当てて」
 講師 一般社団法人スクールセイフティネット・リサーチセンター代表理事
 元東京成徳大学院教授 田村 節子 先生
- (5) 第2回守谷市特別支援教育研究部研修会 12月3日(火) [場所：守谷市役所]
- (6) 茨城県県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加
 12月9日(月) [場所：守谷市中央公民館]
 内容①講演会 内容「構音障害の指導」講師 筑波大学教授 宮本 昌子先生
 ②分科会
- (7) 守谷市特別支援教育に係る児童生徒作品展（「つばさ展☆MOR I Y A ☆」）開催
 1月18日(土)～1月27日(月) [場所：イオンタウン守谷]
- (8) 第3回守谷市特別支援教育研究部研修会
 2月17日(月) オンライン開催 今年度の反省等
- (9) 広報誌「みらい」発行 7月、12月、2月発行
- (10) 各中学校区交流会 10月～11月に各中学校区で実施（対面・オンライン）
- (11) 読み書き障害研修 10回実施（令和6年5月～令和7年2月）
- (12) いなサークル研修
 担当者研修参加 4月23日、25日 [場所：伊奈特別支援学校]
 特別支援教育研修用動画研修 7月26日～12月27日

3 今年度の成果

- ・ Google を活用した情報共有が円滑に行われたことで、全担当者で取り組みへの確認や改善点について考えることができた。各部会や中学校区などのチームでの指導支援ができた。
- ・ 読み書き検査の実施や読み書きに苦戦している児童生徒への支援のあり方について、担当者同士で情報共有や対話を重ねることができた。今後もスキルアップやよりよい支援について研修を重ねアップデートしていきたい。
- ・ 各中学校区での交流学習やつばさ展☆MOR I Y A ☆で学習の成果を披露する機会を得ることができた。

稲敷市

1 令和6年度研究テーマ

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) 組織づくり、研修テーマの決定、活動計画立案
 → 研究部長を中心に、電話で連絡を取り合いながら決定
- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会
 → オンライン 8月20日(火) [場所：市内各学校]
- (3) 第58回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会千葉大会（8月23日）
 → 稲敷市からの参加校なし
- (4) 「ナイスハートふれあいフェスティバル2024 美術展」（12月5日～12月9日）
 → 今年度は参加校なし

(5) 稲敷市「手をつなぐ子らの作品展」

→1月16日(木)～23日(木)〔場所：江戸崎中央公民館〕

3 今年度の成果

- 対面での研修会は実施しなかったが、特別支援学校地域連携体制構築事業を活用するなど、新たな研修を進めることができた。
- 「手をつなぐ子らの作品展」を、公民館を会場として開催することができた。地域の方々にも子どもたちの活動の様子を知っていただくよい機会となった。

かすみがうら市

1 研究主題

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) 第1回特別支援教育研究部研修会（組織、年間活動計画作成等）5月 書面
- (2) 令和6年度かすみがうら市教育研究会特別支援教育研究部夏季研修会
7月25日(木) 〔場所：霞ヶ浦北小学校〕
講演「発達性読み書き障害について知り、正しく対応するために」
講師 NPO法人 LD・Dyslexiaセンター理事長 宇野 彰 先生
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2024
12月5日(木)～12月9日(月) 〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕
- (4) かすみがうら市「手をつなぐ子らの作品展」
1月20日(月)～2月3日(月) 〔場所：カスミ千代田店〕
- (5) 第2回特別支援教育研究部研修会（今年度の反省と次年度の取組）
2月26日(水) 〔場所：霞ヶ浦北小学校〕

3 今年度の成果

- 特別支援教育研究部夏季研修会では、市内の特別支援学級担任全員と希望する通常学級担任が参加し、講師の宇野先生から発達性読み書き障害についてのお話を聞くことができ、充実した研修会となった。その後、かすみがうら市で宇野先生をお招きした発達性読み書き障害の検査についての研修会を開いていただき多くの先生方が参加することができた。
- 手をつなぐ子らの作品展については多くの方に作品を見ていただくことができた。

つくばみらい市

1 研究主題

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方を目指した教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) 組織づくり及び活動計画
 - ・中学校区ごと、推進委員を中心に立案
- (2) 県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会 8月8日(木) 〔場所：きらくやま世代ふれあいの館〕
 - ・講演 これからの特別支援教育に必要なこと～特別支援教育担当者の役割～

講師 守谷市教育委員会教育指導課課長 村松 静 先生

- (3) 「手をつなぐ子らの作品展」 2月上旬〔Web 開催〕
 - (4) 特別支援教育研究部研修会 2月下旬〔場所：つくばみらい市立豊小学校〕
 - ・今年度の反省及び次年度の取り組みについて
- 3 今年度の成果
- ・県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会（きらくやま 世代ふれあいの館）は、つくばみらい市からもほぼすべての特別支援学級担任が参加し、講師の先生から貴重なお話を聞くことができ、充実した研修会となった。
 - ・「手をつなぐ子らの作品展」は、昨年度より Web 上での開催をしている。周知方法等の課題はあるが、今後もより良い開催方法について検討していく。

稲 敷 郡

1 研究主題

- 児童生徒の実態に応じた指導内容とその指導方法の工夫

2 事業内容

- (1) 稲敷郡教育研究会総会への参加 4月12日（金）（各研究部長のみ参加）
- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会への参加（オンライン参加）8月20日（火）
講師 スクールセイフティネット・リサーチセンター代表理事 田村節子先生
演題「発達障害のある子どもへの支援」～WANTS と NEEDS に焦点を当てて～
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2024 出展（竹来中・阿見中が出展）
12月5日（木）～9日（月）〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕
- (4) 県南地区特別支援教育郡支部長等研修会への参加（郡市部長参加）2月14日（金）
〔オンライン〕
- (5) 郡手をつなぐ子らの作品展 1月22日（水）～29日（水）〔場所：美浦中央公民館〕
児童生徒参加人数 344人 展示作品数 345点 来場者数 163人
- (6) R6 特別支援学校地域連携体制構築事業みほとくインクル研修会
郡市部長参加 7月29日（月）9月25日（水）R7.1月21日（火）
〔場所：美浦特別支援学校〕
- (7) 県南地区自閉症・情緒障害学級担当者Bブロック研修会への参加
（特別支援学級担当者参加）12月12日（木）〔場所：牛久市生涯学習センター〕
講 師 茨城県立美浦特別支援学校 教諭 加来 慎也 先生
テーマ 「特別支援教育の基本知識・技術のアラカルト」

3 今年度の成果

- 研究部会や研修について、実施方法の見直し等を行い、適切に実施できた。研修会には参加者が課題をもって臨むことができ、実のある研修となっていた。
- 郡で開催した「手をつなぐ子らの作品展」は、出展数は昨年より多くなり、盛況に終わることができた。
- 県ナイスハートふれあいフェスティバルの参加校も増え、次年度に向けてもアピールしていきたい。
- 令和6年度特別支援学校地域連携体制構築事業みほとくインクル研修会が年間3回実施され、特別支援学校と地域にある小中学校とがより一層連携体制を深める研修となった。